



「考え」をつくる時間

校長 広木 敬子

朝のミニ授業で4年生に「最近びっくりしたことある？」と聞いてみました。すぐに手を上げる子、上げようかと迷っている子、全然思いつかない、という顔をしている子・・・、どの子も一生懸命話を聞いています。いつもの教室の風景です。その後、私が見つけたカルガモ親子の話につなげました。

手を上げない子どもは「あの子、すぐに手が上げられてすごいなあ」「よく思いつくなあ」「勇気あるなあ」なんて感じているのでしょうか。それが想像できるのですぐには当てず、「言わなくてもいいから、まず頭の中に自分の考えをつくってごらん、ちょっと時間あげるからね」と言います。子どもたちは一生懸命に考えます。一人ひとりの中に「考えができて上がる」数秒間が、私の好きな時間です。

考えができてから言葉にするか、いきなり言葉にするかには、違いがあると感じています。そんな話を子どもにすると、うんうん、と反応してくれます（これがとても嬉しい！）。

急に聞いたり、立て続けに質問したりすると、子どもは黙ってしまうでしょう。意味が分からないとか、良く聞こえていないのかもしれませんが。大人でも、自分の考えをすぐに言葉にすることはそんなに簡単なことではありません。

「ちょっと考えて、考えができてあがったら教えて。」

こちらが余裕をもって声をかけたなら、きっと、頭の中にある思いを見つけたり、組み立てたり、並べ直したりして言葉にしようとするでしょう。大人は、そのかけらを、拾って、ふくらませて、一番ぴったりくる言葉を探してあげたらよいと、私は思っています。

あわてなくてよいので、まず自分の考えをつくり、自分の言葉で伝えることができるようになってほしいので、7月もまた、そんな話をしにクラスを回ります。



<お知らせ>

※運動会、引き取りアンケートにたくさんのご回答ありがとうございました。よりよい行事にするため改善を進めてまいります。

※本校は正門、88階段側どちらの門も現在は手で開けられます。安全対策のため、今年度中に電子錠設置工事を行います。それまでは、『登校～下校の時間は「門」「昇降口の扉」を開けたらすぐに閉める』ことを徹底しています。児童の安全のため、ご協力をお願いします。

※後期より、学校とご家庭の連絡ツール(マチコミ)の変更を予定しています。詳細は夏休み明けにお知らせいたします。

☆今月の上寺尾短歌☆

スロープを「はしらないで!」とさけぶのは みんながだいじだから、なのです・・・
あつい日もへっちゃらだよとほほえんで流れる汗がキラリ☆夏、来た!